

JST RISTEX「科学と社会の相互作用」研究開発プロジェクト
地域主導型科学者コミュニティの創生 平成22年度フィールド研究会

日時：平成22年6月19日（土）～20日（日）

会場：鹿児島県奄美市立奄美博物館ほか

主旨：奄美において地域住民の方々が主体となって推進している環境・景観保護の取り組みを対象として、その活動の実体とそこで駆使されている知識を再検討するなかから、外部のアクターである研究者コミュニティにはどのような貢献ができるか模索する。なお、9月に開催する地域環境学ネットワーク設立シンポジウムの企画および協働のガイドラインについても議論を深め、RISTEX 福島杏子氏を交えて今後の研究開発方針について検討する。

プログラム（予定）：

6/19

- 13:00～13:15： 主旨説明
- 13:15～14:15： 中山清美氏（奄美博物館館長）報告&質疑
- 14:15～15:15： 藺博明氏（環境ネットワーク奄美代表）報告&質疑
- 15:15～15:30： 休憩
- 15:30～16:30： 報告者未定（奄美哺乳類研究会）質疑&報告
- 16:30～17:30： 総合討論

6/20

- 9:30～9:40： 趣旨説明 大西秀之氏
- 9:40～10:00： 域社会による国際的な仕組みの取り込みと活用 佐藤哲氏
- 10:00～11:00： 旧笠利町赤木名地区の景観復元について（仮） 中山清美氏
- 11:00～12:00： 奄美の世界遺産登録にかかわる諸問題（仮）
田中準氏（環境省奄美自然保護官事務所自然保護官）
- 12:00～12:30： 総合討論
- 13:30～16:30： フィールドトリップ：旧笠利町赤木名地区

赤木名地区は、奄美博物館の中山さんが官民双方の取り組みとして、「世界遺産の前に奄美遺産」or「奄美遺産あつての世界遺産」を掲げて景観復元（地域住民が選択する自然的・文化的環境）に取り組まれている場所である。とくに、近年、史跡整備が進む「赤木名城」をはじめ色々なスポットを訪問する予定。